

もくじ

◇「平成 29 年度全国学力・学習状況調査」の結果を生かした授業改善の方向を探る

… 1～3

- ・「学力向上ミーティング」での先生方の学び
- ・各校で改善の方向を探るために（研修会の持ち方の提案と資料提供のお知らせ）

◇キラッと講座報告と案内… 4

◇「キラッ☆と光る子どもと先生（写真）」掲載について… 4

ほぼ全国と同じ傾向の全国学力・学習状況調査結果

小学校

	国語A	国語B	算数A	算数B
長野県（平均正答率）	75	57	78	46
全国（平均正答率）	75	58	79	46

中学校

区分	国語A	国語B	数学A	数学B
長野県（平均正答率）	78	72	64	48
全国（平均正答率）	77	72	65	48



授業改善等の窓口は

「もうちょっとで正解」の解答状況にある！

4月の早期採点の際に、多くの先生方から「あ、惜しいなあ」「もうちょっとなのに」という声が聞かれました。先生方の学校の児童生徒の解答状況はいかがでしたか？「もうちょっとで正解」という解答をした子どもたちが、かなりいることが見えてきませんか？

子ども達は、全く解らなくて「不正解」になっているのではなく、ほぼ正答なのに、正答の条件に対して不十分である場合が多いのではないのでしょうか。

…ということは…私たちの授業改善の方向も普段の授業で実践されていることの中に、「もうちょっと」を乗り越えるたくさんの大切なことがつまっているはずですよ。

9月12日（火）の「平成29年度学力向上ミーティング」では、「解答類型」や「児童生徒質問紙」の結果に注目して、研修しました。

次ページからは、その様子をもとに、「もうちょっと」を乗り越える「これから」に向けた取組を提案します。

ご覧ください。



季節の花だより



「菊（白）」
花言葉 “高尚・真実”
2017/11



平成 29 年度重点目標・キーワード
生涯学習課
“学びをつなげて 人づくり 地域づくり”
学校教育課
“語らい つなぐ”

先日は紅葉した山に雪がついて、この時期ならではの彩りが見られました。忙しい中ですが、自然の美しさを子どもたちと愛でるゆとりを大切に、ともに語らいましょう。事務所だよりについても、ご意見・ご感想・ご希望の記事等をお寄せください。（メール hokushin-s@pref.nagano.lg.jp まで）

「学力向上ミーティング」での先生方の学び

研修1

「解答類型」を基にして探る
具体的な学習指導の改善の方向

解答類型を活用

◇誤答の状況に着目

- ・右のシートを使って、どこでどのようにつまづいているのかを把握する。
- ・「もうちょっと」の解答状況が見えてくる。

◇授業改善の方法を思いつくだけ挙げる。

- ・個人で考えた後、他者と意見交換する。



研修2

自校の結果から考える
授業改善の方向（グループ協議）

児童生徒質問紙の

調査結果を活用

◇研修1で見えてきた改善の方向と関わりそうな質問項目や課題の見られる項目を選ぶ。

- ・研修1で見えてきた「もうちょっと」を乗り越える方法と生徒質問紙から見えてきた「子どもは日常の授業をどう捉えているのか」を関わらせ、授業改善の方向を考える。



◇学力向上ミーティングに参加された先生の感想

解答類型（誤答傾向）の反応率から授業改善の視点を明確にすることで、担任が意識して自分の授業を変えていくことができると思った。今日見えた傾向は他の学年にも共通していると思うので、学校職員みんなで意識していけるようにしたい。

「学校で、4年生以上の学年について、ハンカチとティッシュペーパーを持ってきているかどうか調べました。ゆうじさんたちは、調べた結果をグラフに表して発表しようと考えています。それぞれの学年の「学年の人数」をもとにしたときの「ハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数」の割合を表すのに、最も適したグラフは、右の1から4までの中でどれですか。1つ選んで、その番号を書きましょう。」

正解は3です。しかし、反応率を見てみると、最も高かったものは4でした。なぜ32.3%の児童が4を選んだのでしょうか。4を選んだ児童にはどのようなつまづきがあると考えられるでしょうか。

4を選んだ児童には、どのようなつまづきがあると考えられますか？

例えば… 割合を表すグラフを選択できているが、各学年の割合を比較するという目的に適したグラフを選択できていない。

4を選んだ児童に対して、どのような授業改善が考えられますか？

例えば… ①「棒グラフ」「帯グラフ」「円グラフ」から、何が読み取れるのかも問う。
②目的に最も適したグラフを判断し、その理由を説明し合う。
③目的に合った円グラフにするには、どのように修正すればよいのか話し合う。

国語の問題。私の学校では、話し合いの発言の意図をとらえる問題に課題が見られた。

「話し合う内容を理解し、相手の考えを最後までしっかりと聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた」の回答はどう？

私の学校は、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」の回答が低い。せっかく話し合ったのに、その学びのよさを子どもは自覚していないのかな？

私の学校も、「話し合う活動をよく行っていた」の回答は高いのだけれど…。

その質問の回答は高くない。これって、話し合い活動はするけれど、あまりよい話し合いになっていないってこと？

「見とどけ」で、子どもが学びを振り返る時間が必要だね。話し合いの質の向上や振り返りの時間を大切に授業改善しよう！

各校で改善の方向を探るために

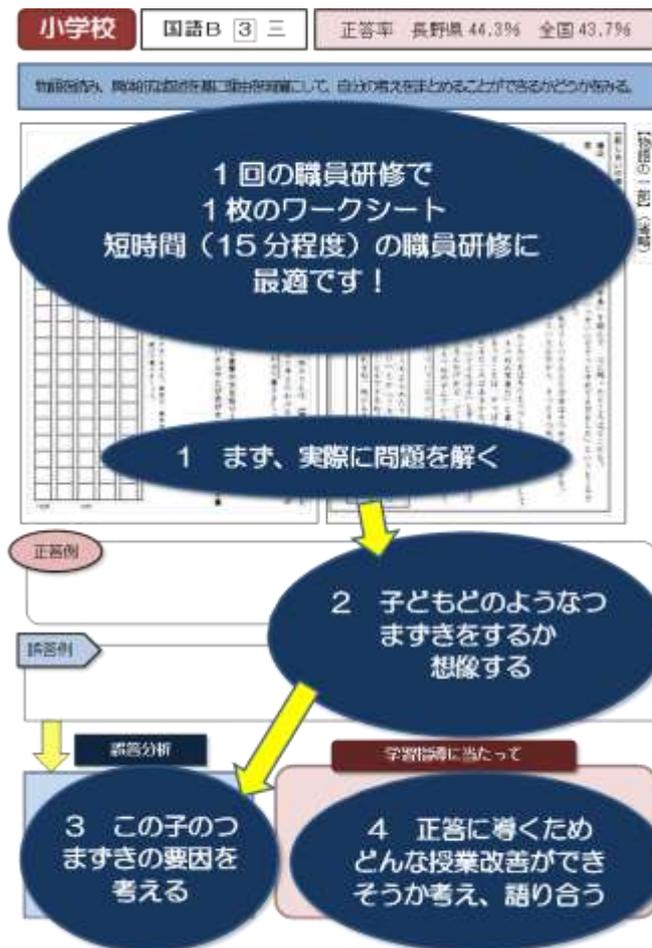
各校でも、次年度の取組の展望を拓くため、
「あとちょっと」を乗り越える方策を、教職員皆で探ってみませんか？

研修会で使用したものと同様のワークシートを、
北信教育事務所のホームページにアップしてあります。
(期間 H29年12月5日～H30年2月28日まで)
それを使って以下の例のように、1回15分程度
で研修会を行ってみませんか？

すぐに使えます！

研修会用ワークシート

北信教育事務所HPからダウンロードを



「解答類型」に基づいて、目の前の子どもの
個々の解答状況を分析することが、次の指導
改善の決め手になります！
以下には、「報告書」を参考に、課題が見ら
れた問題について、誤答分析から授業改善に
つなげるワークシートを作成しました。
★職員研修に是非ご活用下さい★



小学校国語 A B
算数 A B
中学校国語 A B
数学 A B

作成済みの
ワークシートが
HPに掲載
されています。

活用できます！ 国立教育政策研究所の資料

国立教育政策研究所では、全国学力・学習状況調査の結果
を日々の授業改善に生かせるように「報告書」「授業アイディ
ア例」等を作成しています。是非、ご活用ください。

国立教育政策研究所

検索



キラッ☆と笑顔わくわく講座をご活用ください

～中間教室や相談室に通う子どもたちと“キラッ☆と笑顔”を～

〈 活動 (例) 〉

- 9:00 学校着・打合せ・顔合わせ
9:20 ・バドミントン(体育館)
・フリスビー
・ペタンク
10:10 工作遊び(教室)
・ペットボトルで空気砲
・折り紙
11:20 終わりの挨拶、学校発



体を動かしてよかったです！またやりたいです。

ペットボトル空気砲は、いろいろなアイデアが浮かんで面白かったです。

久しぶりにAさんの笑顔が見ることができ、私も自然な会話ができました。(担任の先生)



リラックスして笑顔で活動していて、本当によかったです。この活動を楽しみにして登校したり、講座の後にクラスの授業に参加でき、それをきっかけに文化祭をクラスで過ごすことができた生徒もいます。

(相談室担当の先生)



10月～2月の開講可能日はメールで各校に配信済みです。ご希望に応じて内容や日程は対応可能です。お申し込みはFAX(026-234-9557)どうぞ!!

「キラッ☆と光る 子どもと先生 (写真)」をHPに掲載します

日頃より北信教育事務所のHP（ホームページ）をご活用いただきまして、誠にありがとうございます。

本所では、HPをご覧いただくことを通して、より多くの先生方や地域の皆様に、北信管内の教育活動についてお知らせしていきたいと願っております。その取組の一環として、指導主事が学校訪問等でおじゃました際に出会った、先生と子どもたちの素敵な関係が垣間見える写真の掲載を企画しております。

つきましては、学校訪問の際に撮影した写真で、ホームページへ掲載させていただきたいものについては、当該校の校長先生をはじめ、写真に写っている先生、児童・生徒の皆さんやその保護者の皆さんの掲載許可をいただきたいと思います。その際には、掲載を希望する写真データを添えて、許可をお願いする連絡を差し上げますので、ご対応をお願いします。

本所では、今後とも、子どもたちや先生方、保護者、地域の皆様のために、教育活動の一助となれるような活動に取り組んでまいります。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

